

ハチドリ通心(信)
2009年10月号

発行者 楽しい株式会社
住所 北九州市若松区向洋町10番1
北九州エコタウン実証研究エリア内
Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303
E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

日本の地球温暖化対策



政権が変わりました。

新しい政権において、地球温暖化対策として、2020年までに、1990年比で、CO₂などの温室効果ガス排出量の25%削減という中期目標が掲げられました。それに合わせて、企業などには温暖化ガスの排出量の上限を割り当て、過不足分を企業同士が売買する仕組みが導入される見込みです。身近なところでは、一般市民にも住宅用などの太陽光パネル、環境対応車、省エネ家電などの購入に対して更に助成されるようです。

こうした環境改善の取り組みは、産業界はもちろん国民全体が参加する必要があるようです。

これからも、私たちは、低炭素社会実現のため、できることからコツコツと、「ハチドリのひとしずく」を落とし続けます。

若松のコスモスが咲き始めました。



若松区が主催で、地域の方々と育ててきたコスモスが開花の時期を迎えています。

北九州市若松区ひびき茜ライン(国道495号)のコスモス街道(約1km)は、10月上旬、色とりどりのコスモスが咲き

乱れ、その美しさは圧巻です。お近くへお越しの際は、是非ご覧下さい。

小さな地域内循環を実現する簡易堆肥化システムのご紹介



これまで当社が提供する循環のしくみ「メリーズシステム」の堆肥化は、九州においては北九州エコタウンのリサイクルセンター、関東においては、千葉県松戸市のグループ会社、株式会社メリーズ

ジャパンのリサイクルセンターを拠点として行ってきました。エリアは全九州や関東一円をカバーしてまいりました。

これまでの堆肥化における一般的な課題として、以下の点がありました。

労力がかかる。

完熟させる過程において、2~3日に1度切り返しを行う必要がありました。

コストがかかる。

大型の堆肥化設備を稼働させるには、多額の初期投資、ランニングコストが必要でした。

エネルギーを使う。

大型の堆肥化設備を稼働させるために多くの電気や化石燃料が必要でした。

スペースが必要。

これまで、ある程度の規模の施設には、それなりのスペースが必要でした。

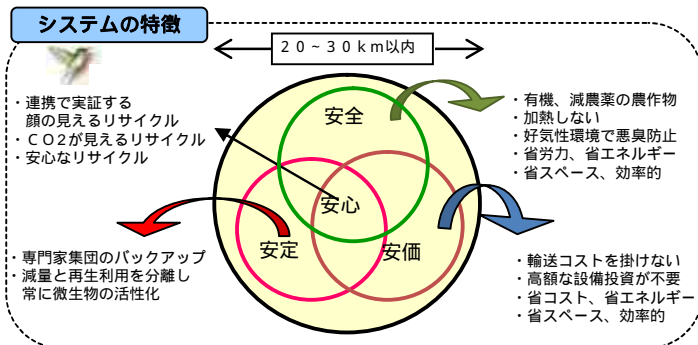


このような課題を解決するしくみとして、島根県と、島根県の企業、株式会社ミライエと、楽しい(株)で、メリーズシステムで活用できるシステムを開発しました。

これは、フレコンバッグと呼ばれる化学繊維性の袋に一次発酵物を入れ、高压で空気を内部に送りこんで、臭気をほとんど出さないまま、60日間で堆肥を作る仕組みです。また、切り返し作業が一切不要です。

これによって、省労力、省コスト(従来の施設建設に比べ1/20、最低50万円)、省エネルギー、省スペースで地域内循環が可能となりました。

この仕組みは、北九州エコタウンのリサイクルセンター、千葉県松戸市のグループ会社、株式会社メリーズ・ジャパンのリサイクルセンターで見学が可能です。お気軽に当社までお問合わせ下さい。



ハチドリ紹介

地元若松で連携する化学肥料、農薬を使わない農家さんをご紹介します。これらの方々には、楽しい(株)が食品残渣から作った堆肥を栽培に生かされたり、出来た循環野菜を販売しておられます。是非とも、美味しい循環野菜をご賞味ください。



山岸 敬一郎さん

トマト(シシリアンルージュ)、ツタンカーメンのそら豆等、こだわっておいしい野菜を作っておられます。



加治 幸男 さん

同じく地元若松において、奥さんと2人でコツコツと安全でおいしい野菜を作っておられます。



「カーニバル」循環野菜コーナー

当社の連携先、スーパー「カーニバル本城店」の山岸さん、加治さんの循環野菜コーナー。固定のファンも多く、評判は上々です。

お知らせ



10月21日~23日、北九州の西日本総合展示場で行われる『エコテクノ2009』に出展いたします。今回ご紹介した簡易堆肥化システムの紹介やご希望に応じたご現地見学会も行う予定です。是非お越しください。

ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。
URL: www.fun-c.jp/ をご覧ください。(竹村が担当しました。)